

第5章

これまでの調査結果との比較

第5章 これまでの調査結果との比較

※図 5.1～図 5.4 については、70 歳の方の数値を抜粋し、比較しています。

1 5年間の総括

本調査は平成29年度に始まり、今年で5回目となりました。第5章では、この5年間の回答者の属性とリスク該当者・リスク出現率の推移について、みていきます。

回答者の性別は、5年間を通じて女性の方がやや多い傾向が続いています。家族構成の割合は、大きな変動はみられませんでした。日常生活圏域の構成は、「第10圏域（とよかわ・かみふなか）」が毎年10%を超えている一方で、「第5圏域（ひがしとみず）」は毎年6%台となっています。BMIは、「やせ」「標準」が減少傾向にあり、「肥満」が5年間で3.3ポイント増加しています。高齢者人口は、5年間でみると70歳以上が増加傾向となっています。認定率は、79歳までは横ばいですが、80歳以上の各年代では減少傾向となっています。

市全体のリスク該当者の推移をみると、平成29年度調査から1.9ポイント上昇しています。さらに、リスク別に細かくみていくと、5年間で上昇しているのはこころリスクが1.8ポイント、口腔リスクが1.6ポイント、栄養リスクが0.2ポイントの3つとなっています。家族構成別にみると、すべての家族構成で物忘れリスクが5年続けて30%台となっています。また、ひとり暮らし世帯でのこころリスクが、他のリスクと比べて大きな増減となっています。

図 5.1 回答者の性別（5年間の比較）

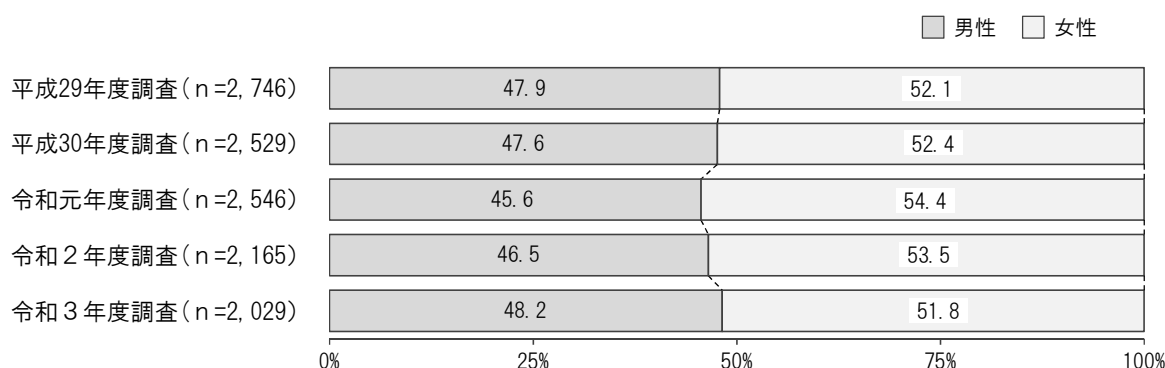


図 5.2 回答者の家族構成（5年間の比較）

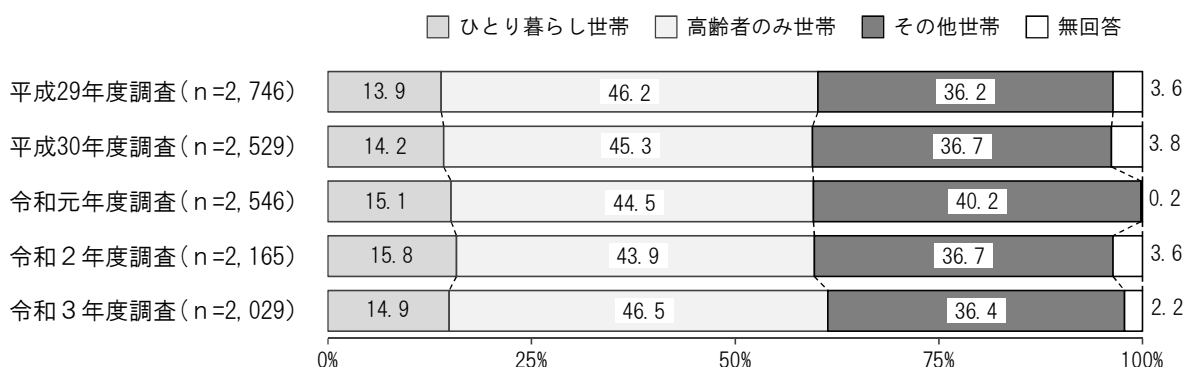


図 5.3 回答者の日常生活圏域構成（5年間の比較）

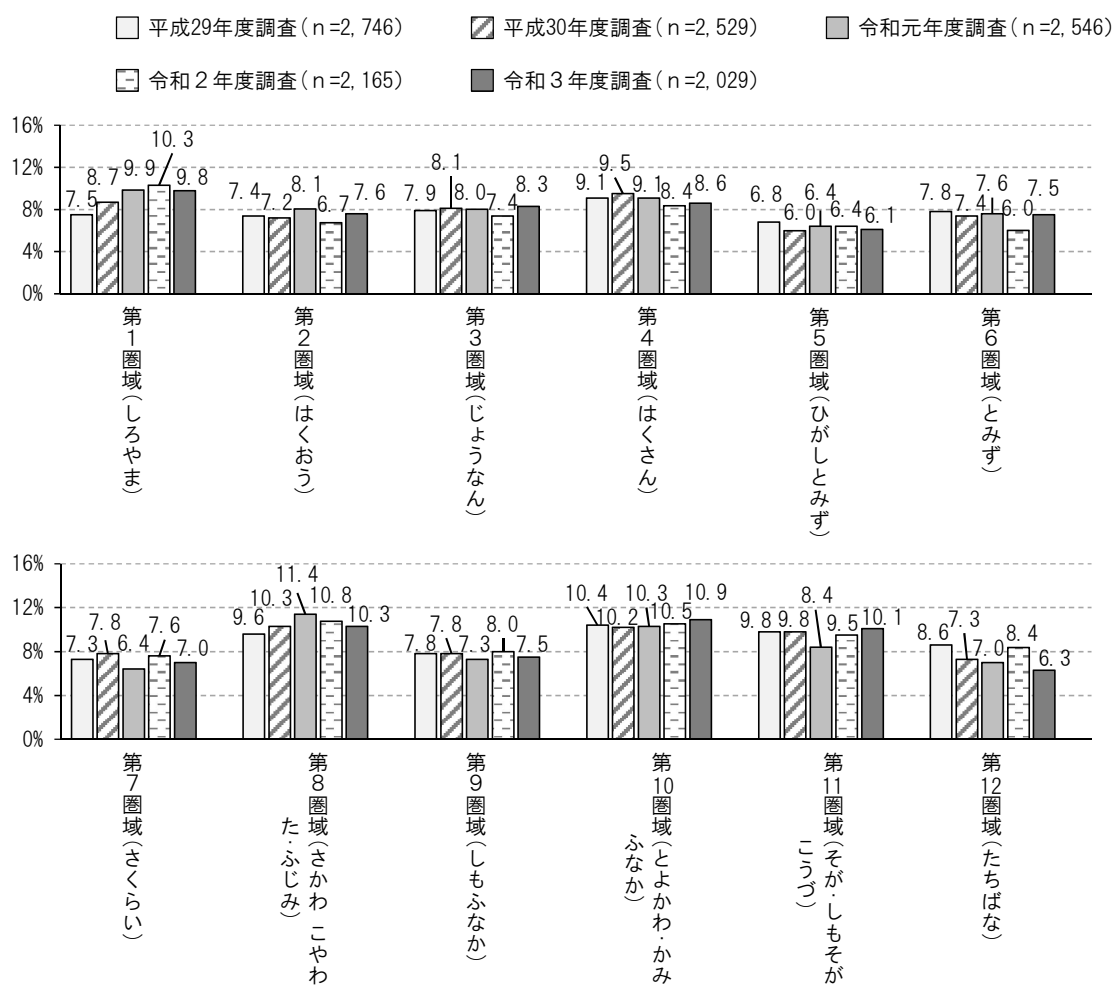


図 5.4 回答者のBMI（5年間の比較）

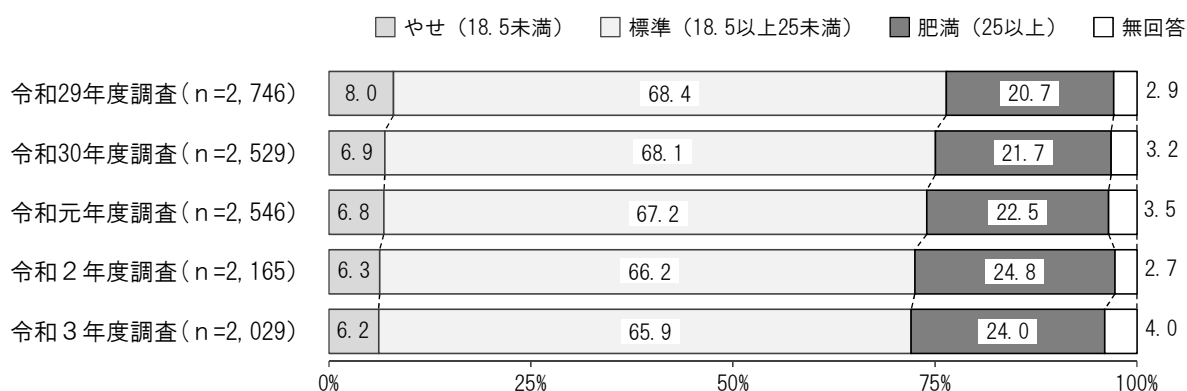
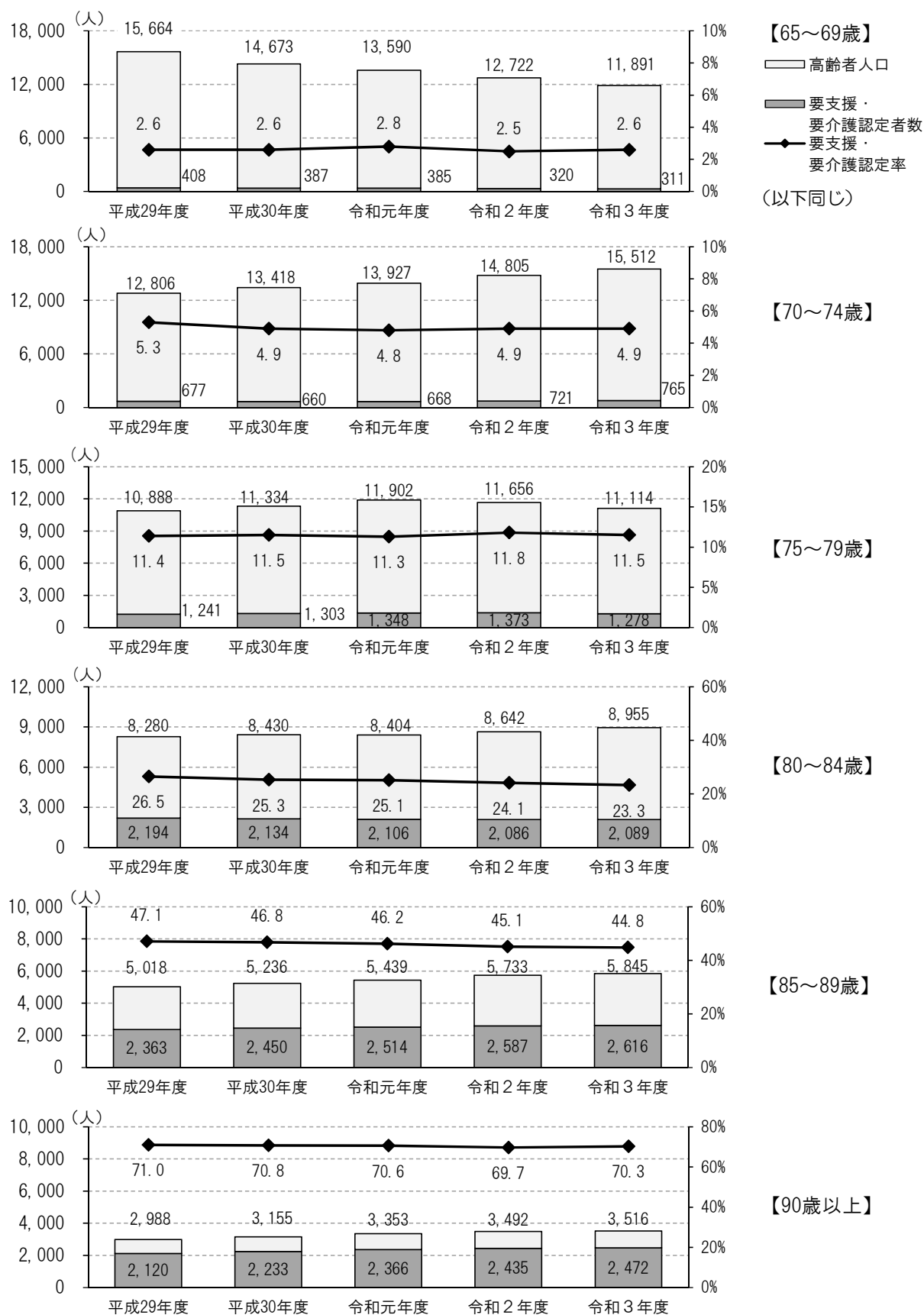


図 5.5 高齢者人口と要支援・要介護認定者数の比較（5歳階級別・5年間の比較）



小田原市高齢介護課調べ（各年9月末時点）

図 5.6 リスク該当者、7 種類のリスク別出現率（市全体・5 年間の比較）

【70歳全体】

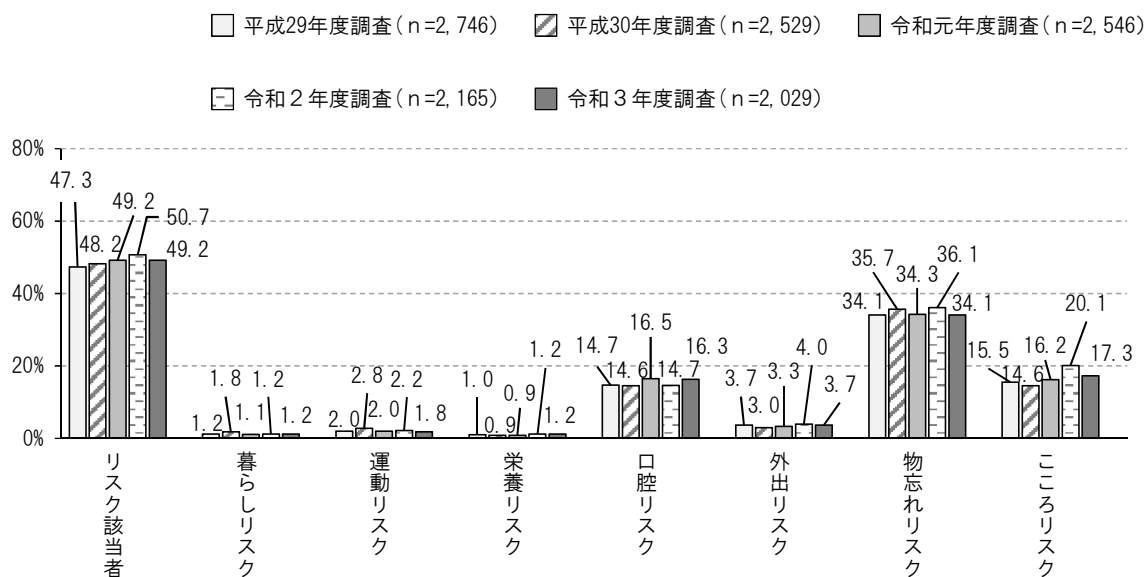
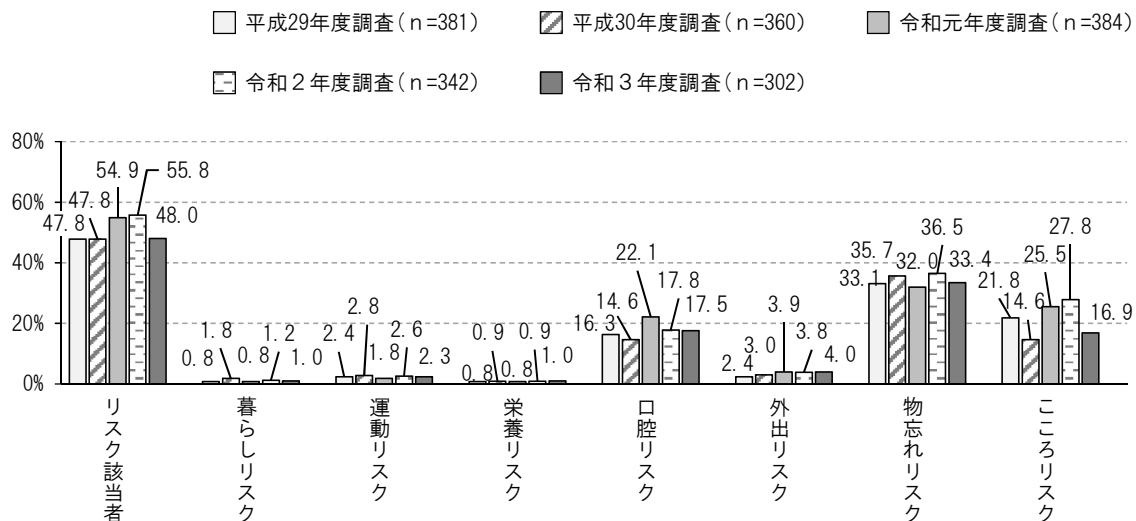
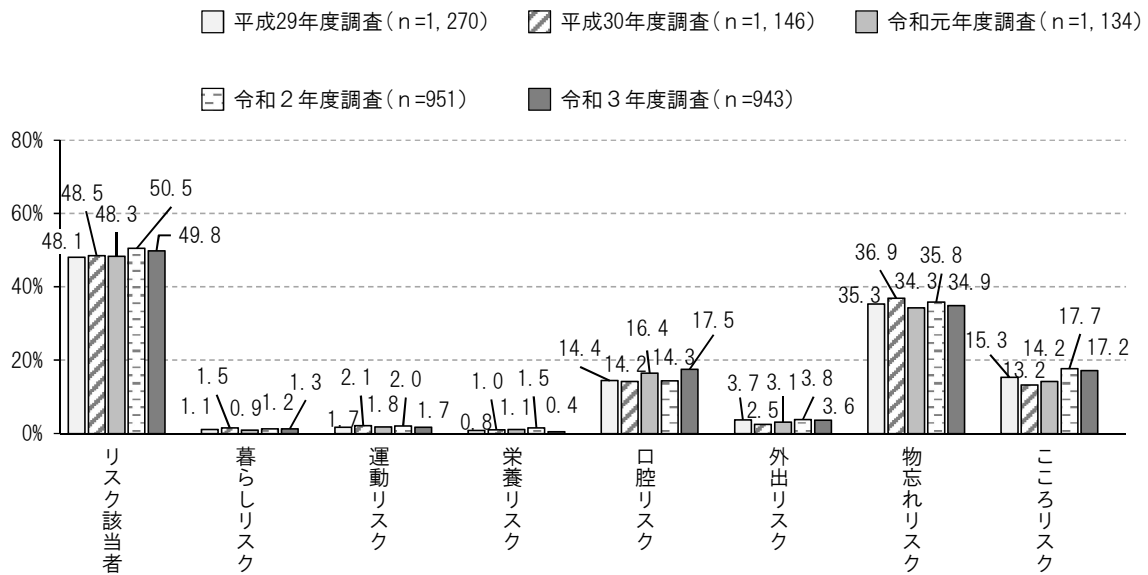


図 5.7 リスク該当者、7 種類のリスク別出現率（市全体・家族構成別・5 年間の比較）

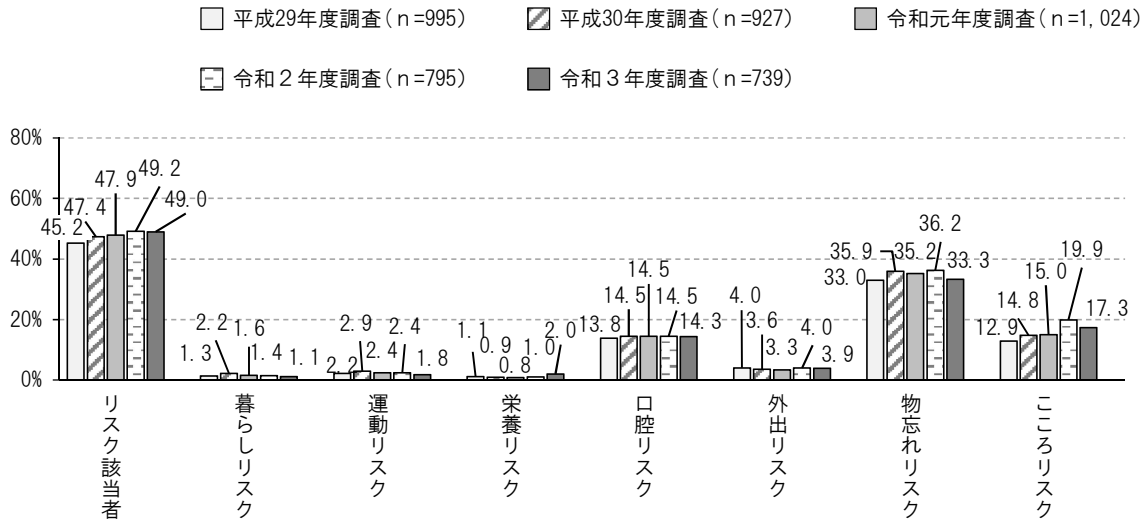
【ひとり暮らし世帯】



【高齢者のみ世帯】



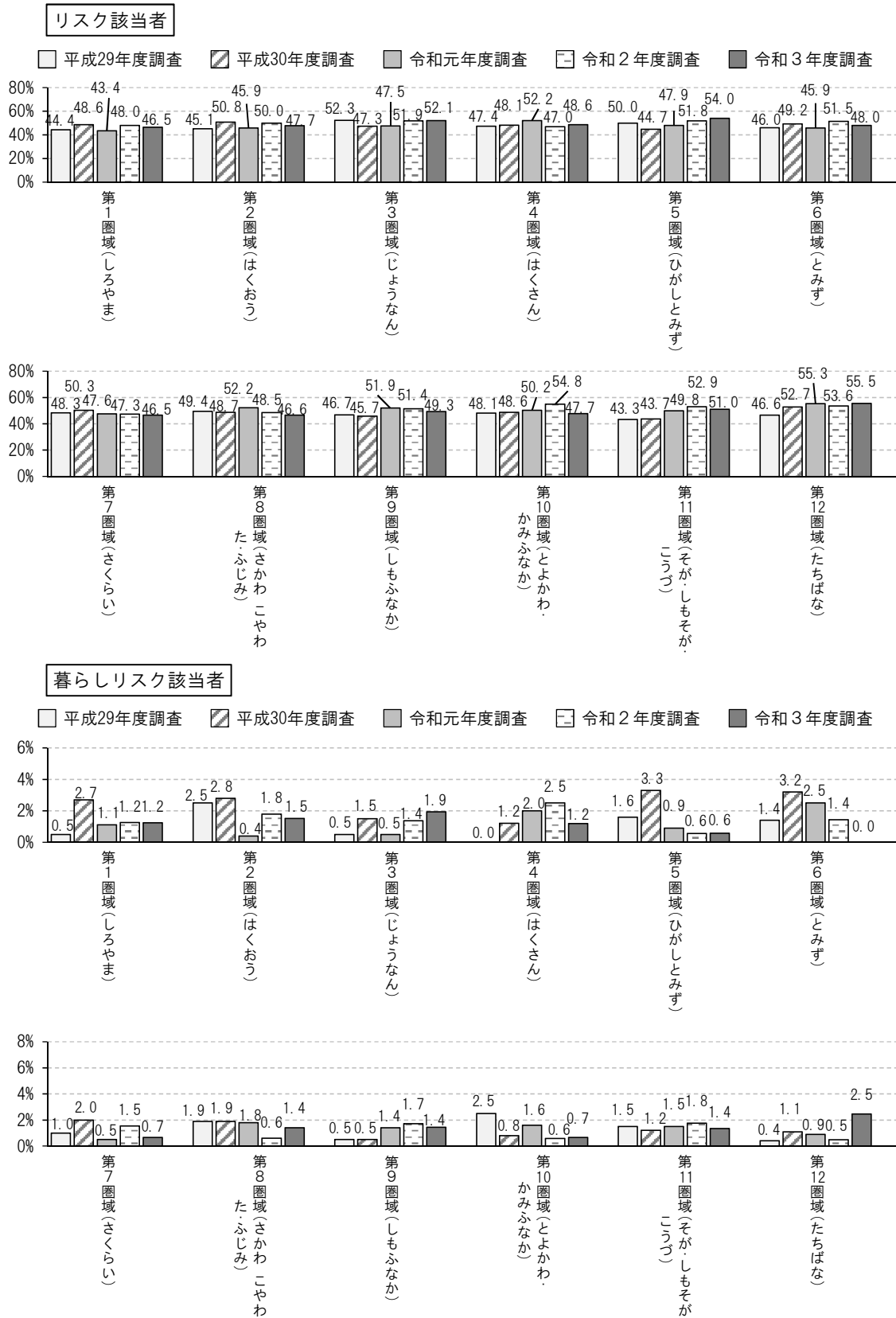
【その他世帯】



2 日常生活圏域ごとの比較

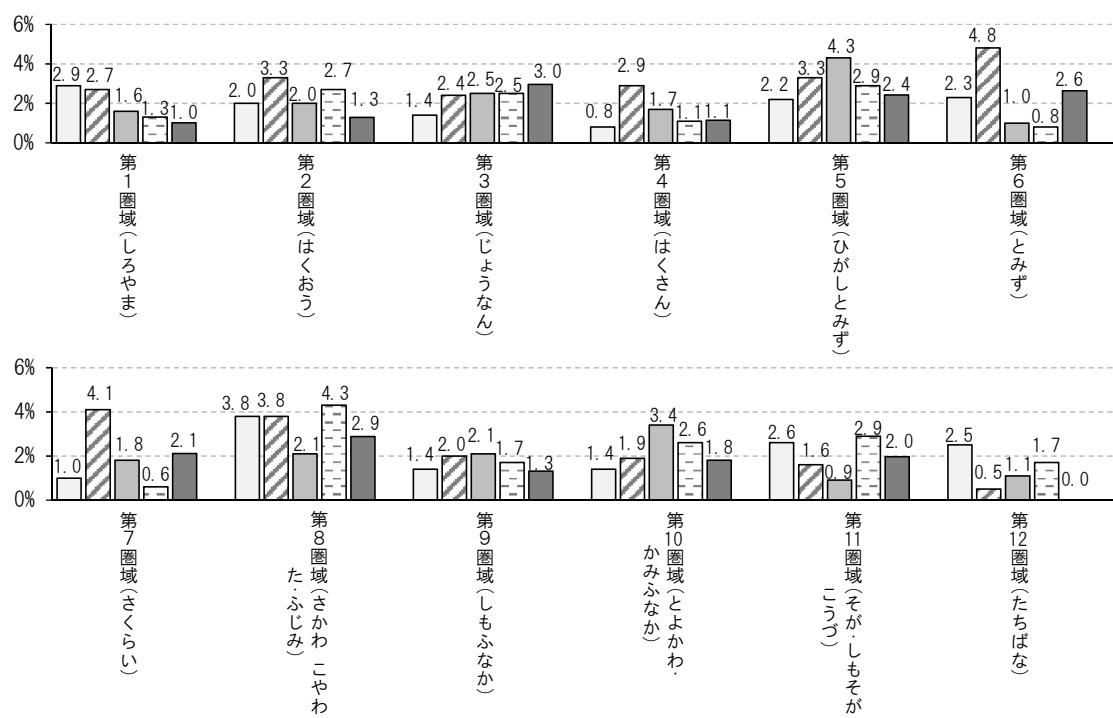
※市全体については、118～119 ページをご覧ください。

図 5.8 リスク該当者、7 種類のリスク別出現率（日常生活圏域別・5 年間の比較）



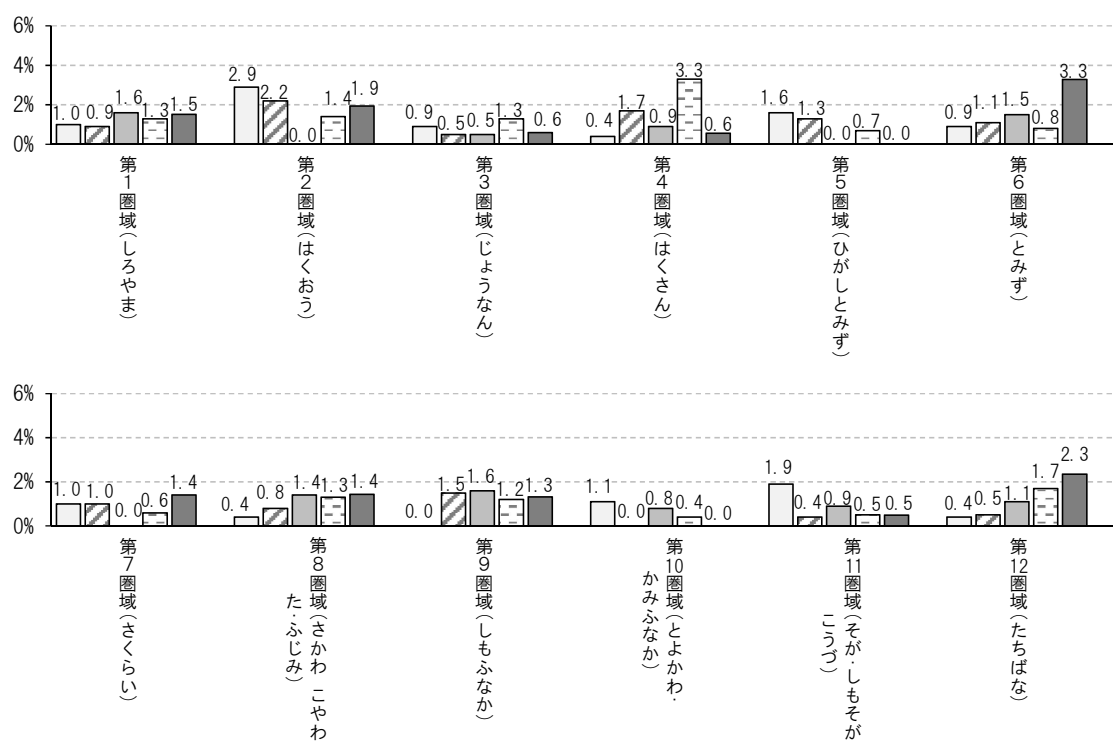
運動リスク該当者

□ 平成29年度調査 ▨ 平成30年度調査 ■ 令和元年度調査 □ 令和2年度調査 ■ 令和3年度調査



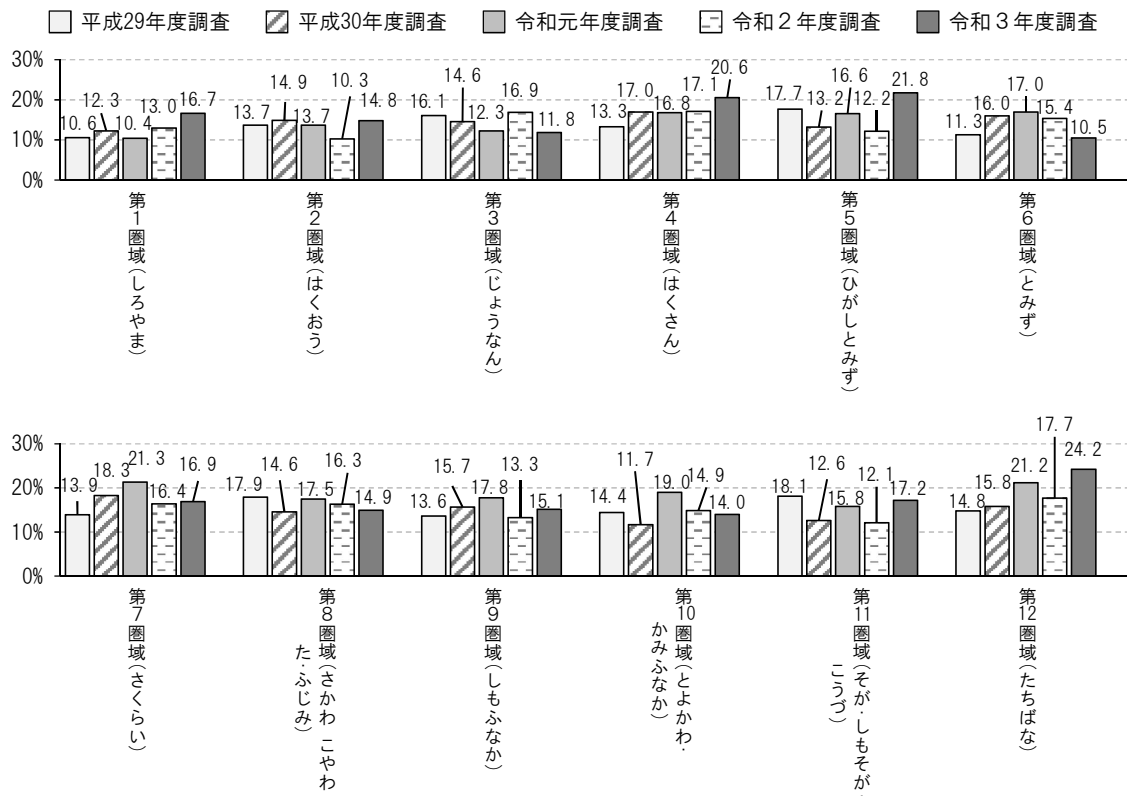
栄養リスク該当者

□ 平成29年度調査 ▨ 平成30年度調査 ■ 令和元年度調査 □ 令和2年度調査 ■ 令和3年度調査

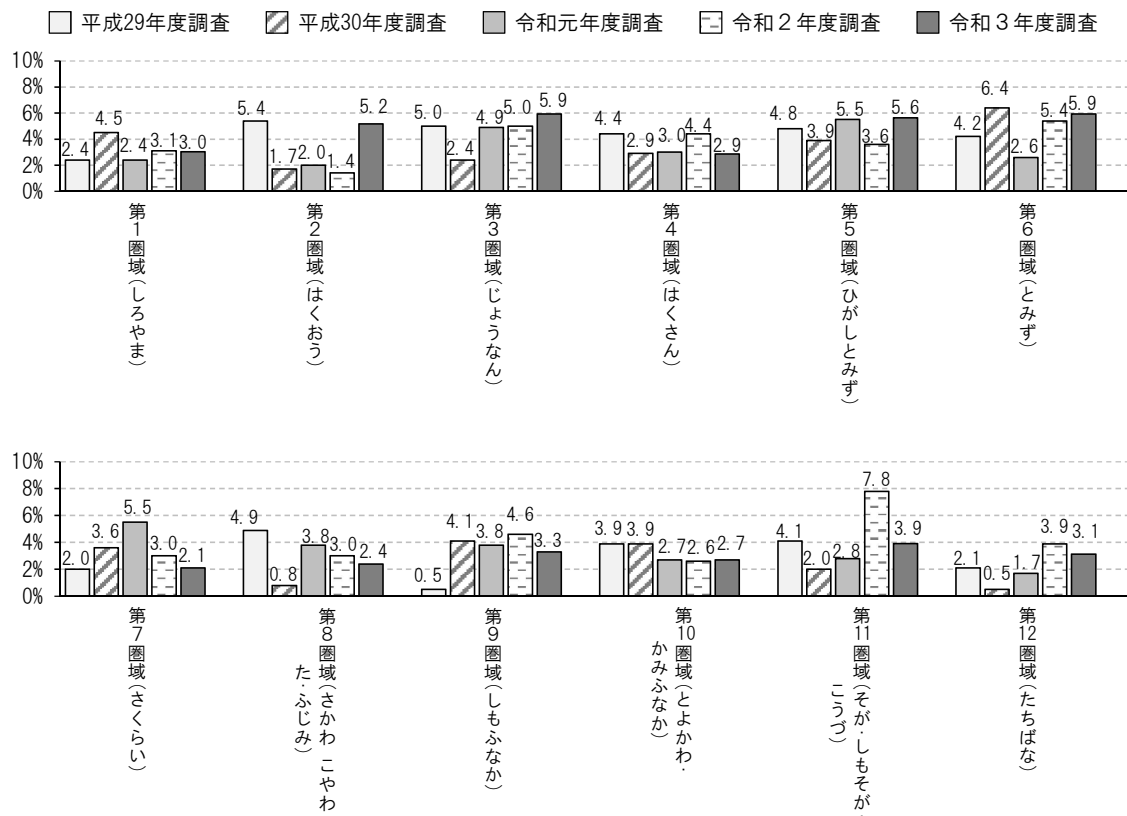


第5章 これまでの調査結果との比較

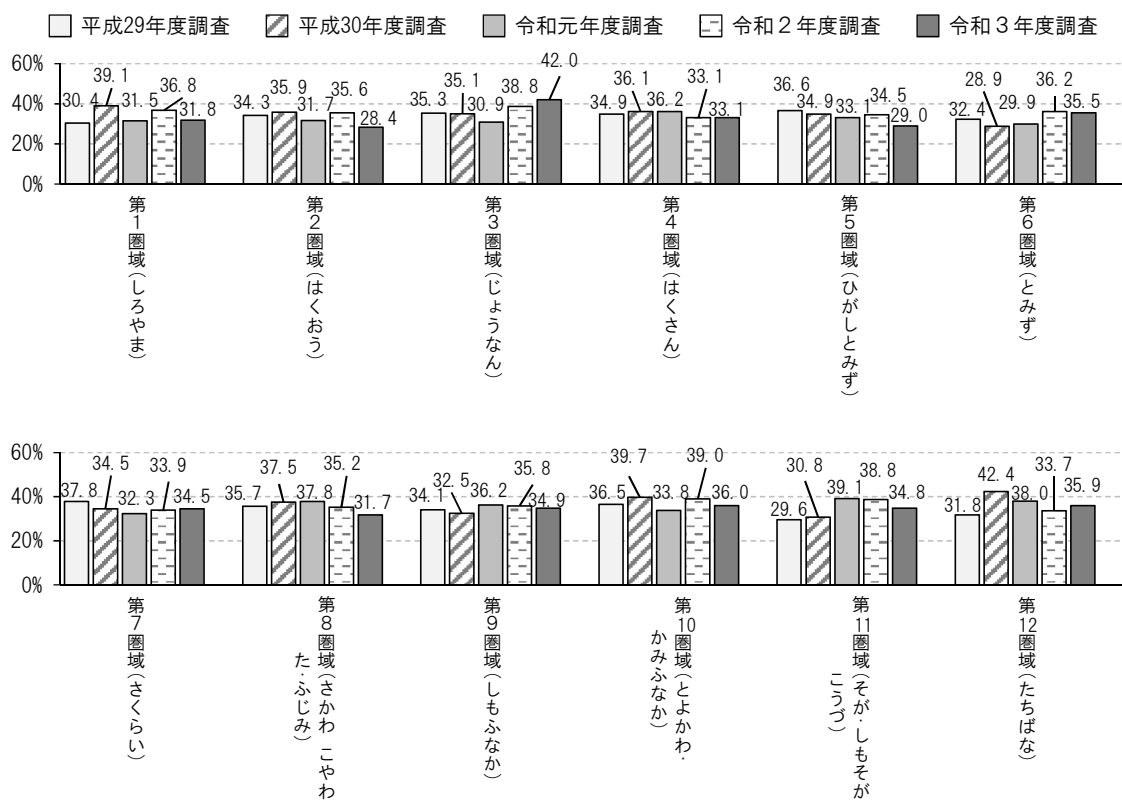
口腔リスク該当者



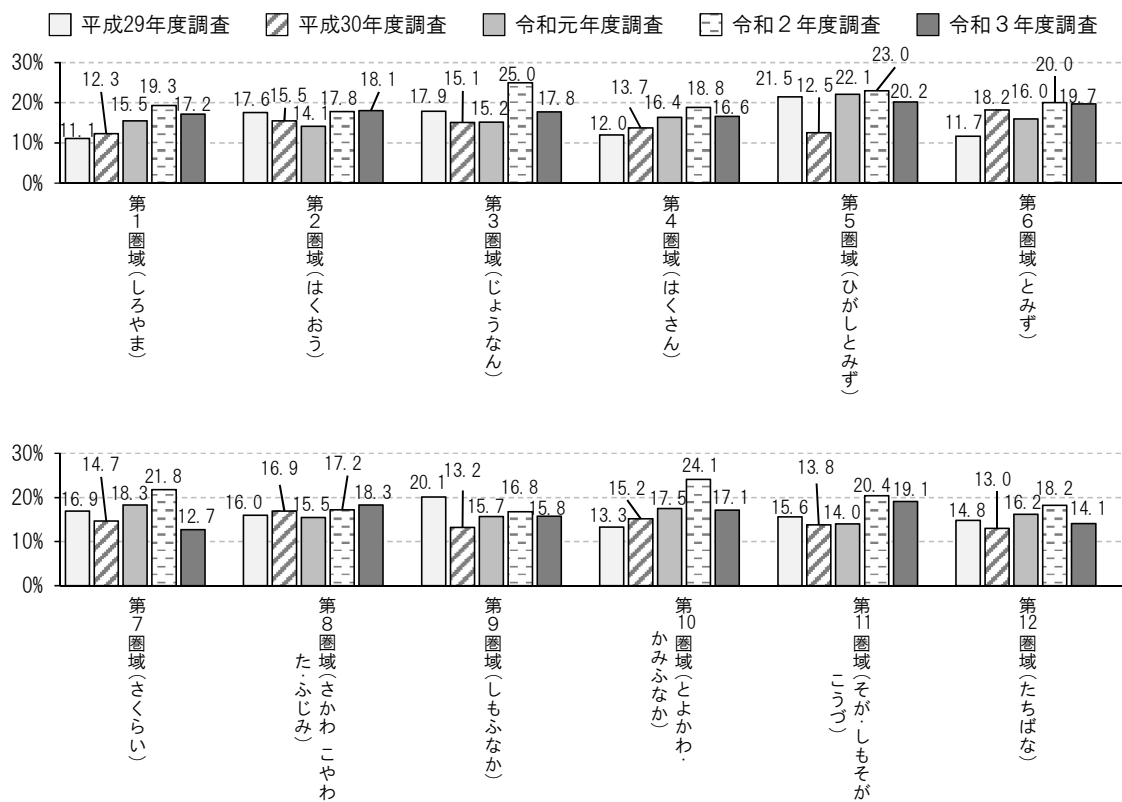
外出リスク該当者



物忘れリスク該当者



こころリスク該当者



(1) 第1圏域（しろやま）

「第1圏域（しろやま）」では、リスク該当者は、この5年間でみると2.1ポイント上昇しています。リスク別では、口腔リスクとこころリスクがそれぞれ6.1ポイント上昇しています。物忘れリスクは1.4ポイント上昇しています。

家族構成別にみると、ひとり暮らし世帯のリスク該当者は、5年間で8.9ポイント上昇しています。リスク別では、物忘れリスクは12.7ポイント、外出リスクは6.7ポイント、こころリスクは3.9ポイント上昇しています。

高齢者のみ世帯では、リスク該当者は5年間で2.8ポイント上昇しています。リスク別では、口腔リスクは8.6ポイント、こころリスクは6.4ポイント上昇しています。また、物忘れリスクが低下傾向にあり、直近2年間は30%を下回っています。

その他世帯では、リスク該当者は5年間であまり変化は見られません。リスク別では、物忘れリスクは3.7ポイント低下していますが、口腔リスクは9.3ポイント、こころリスクは5.2ポイント上昇しています。

図 5.9 リスク該当者、7種類のリスク別出現率（5年比較/第1圏域（しろやま））

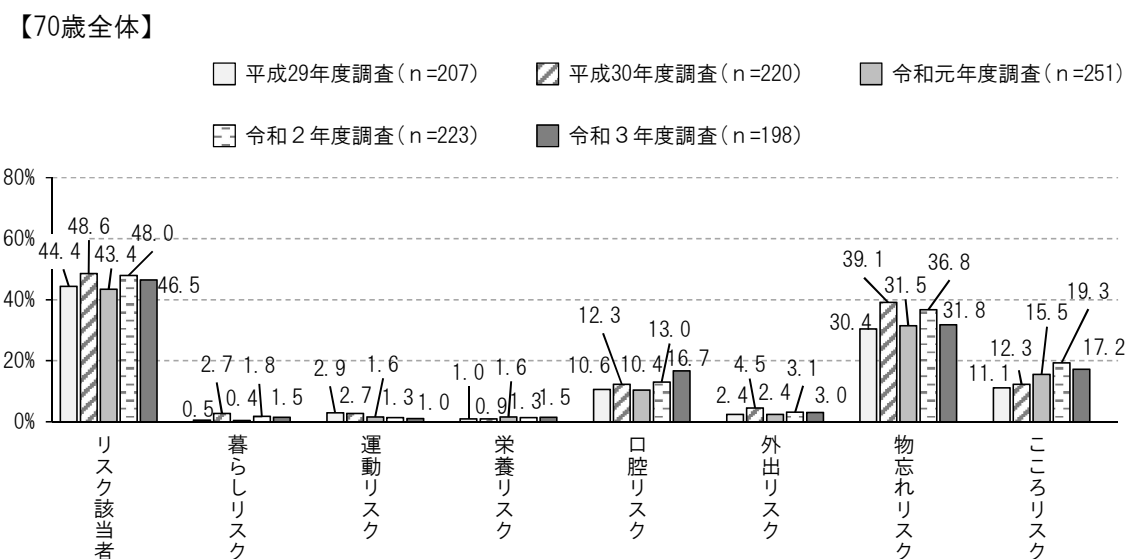
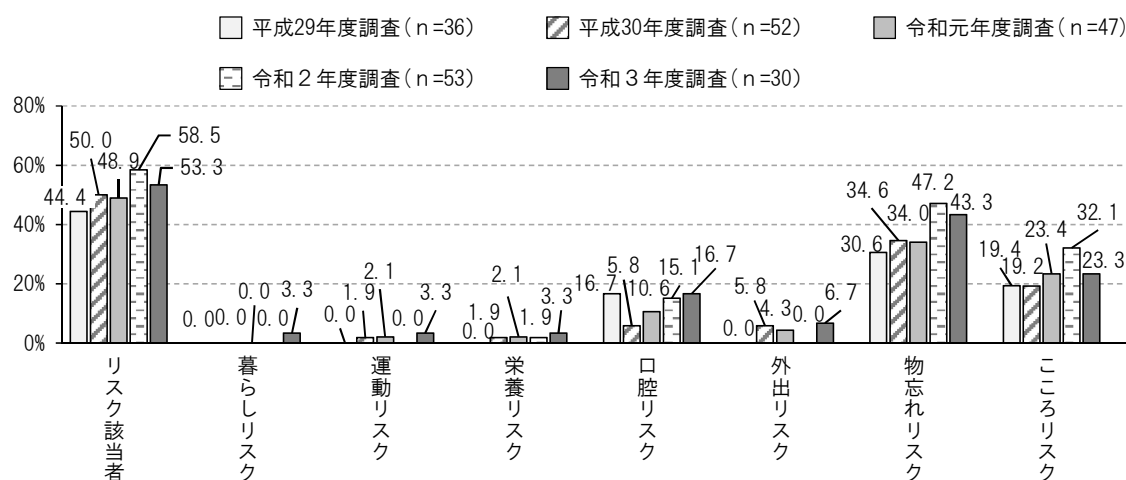
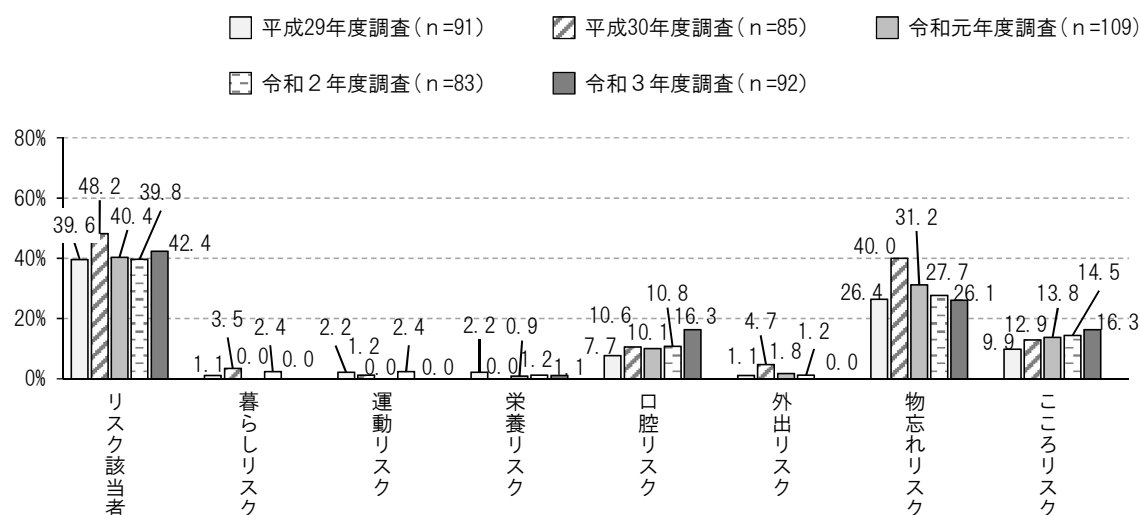


図 5.10 リスク該当者、7種類のリスク別出現率（家族構成別・5年比較/第1圏域（しろやま））

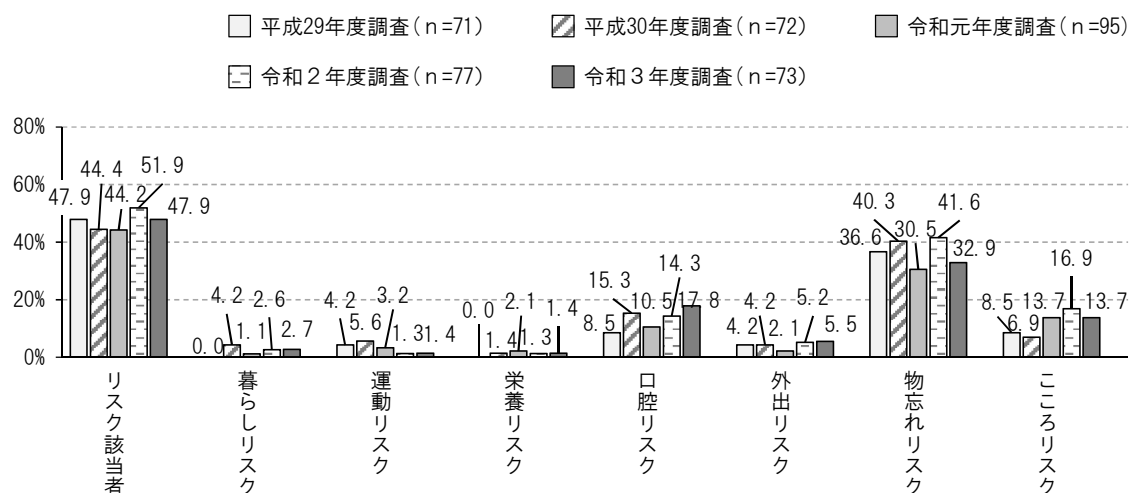
【ひとり暮らし世帯】



【高齢者のみ世帯】



【その他世帯】



(2) 第2圏域（はくおう）

「第2圏域（はくおう）」では、リスク該当者は、この5年間でみると2.6ポイント上昇しています。リスク別では、物忘れリスクは5.9ポイント低下しており、5年間で初めて30%を下回っています。

家族構成別にみると、ひとり暮らし世帯のリスク該当者は、5年間で17.7ポイント低下しています。リスク別では、物忘れリスクは24.7ポイント、こころリスクは22.0ポイント低下しています。

高齢者のみ世帯では、リスク該当者は5年間で2.3ポイント低下しています。リスク別では、物忘れリスクは13.2ポイント、外出リスクは4.6ポイント低下していますが、口腔リスクは4.6ポイント、こころリスクは2.3ポイント上昇しています。

その他世帯では、リスク該当者は5年間で18.8ポイント上昇しています。リスク別では、物忘れリスクは10.5ポイント、こころリスクは6.1ポイント上昇しています。

図 5.11 リスク該当者、7種類のリスク別出現率（5年比較/第2圏域（はくおう））

【70歳全体】

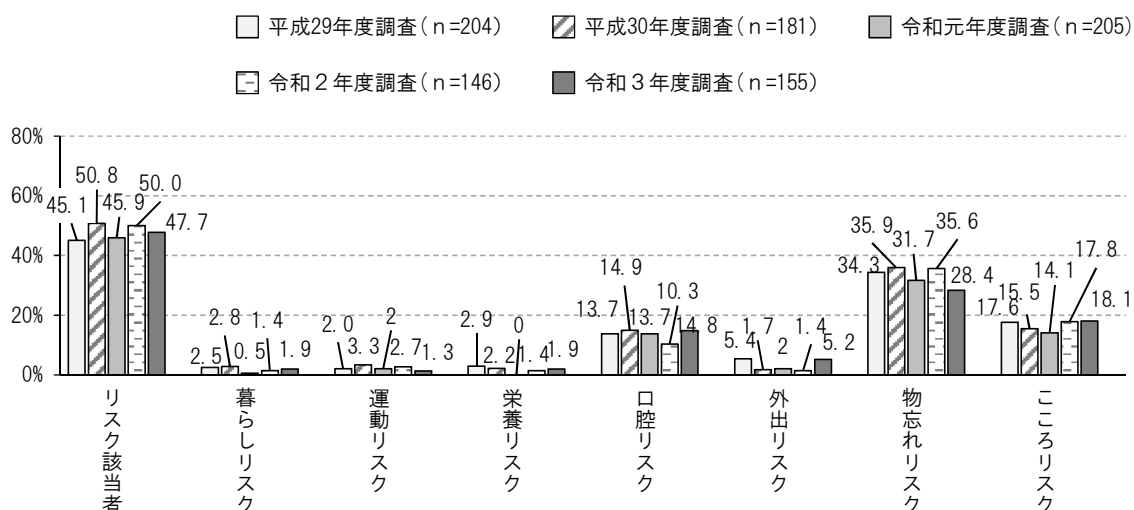
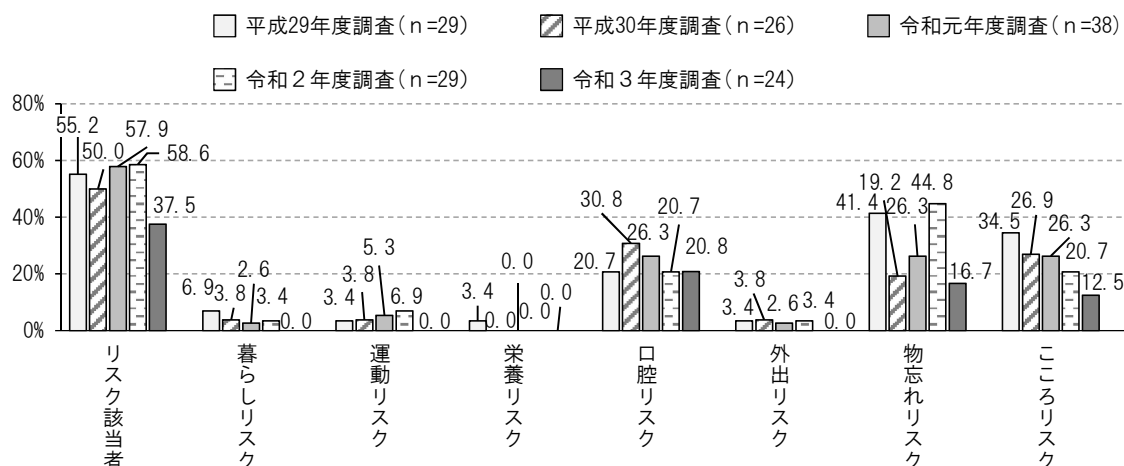
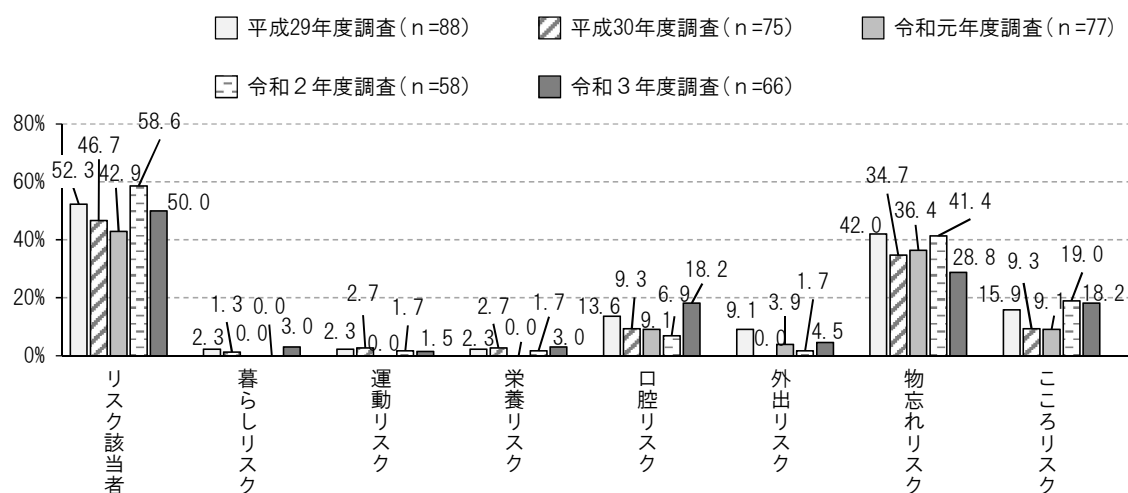


図 5.12 リスク該当者、7 種類のリスク別出現率（家族構成別・5 年比較/第 2 圏域（はくおう））

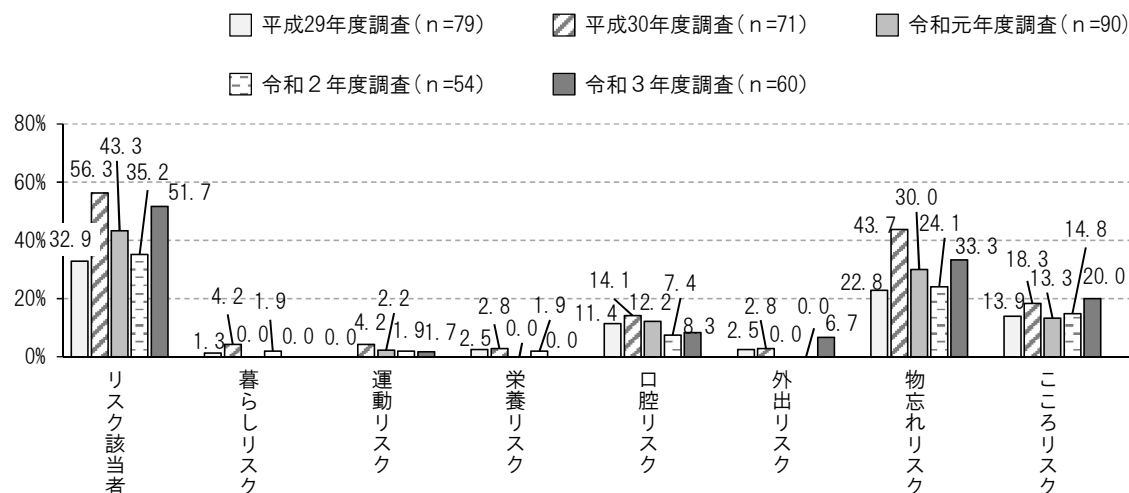
【ひとり暮らし世帯】



【高齢者のみ世帯】



【その他世帯】



(3) 第3圏域（じょうなん）

「第3圏域（じょうなん）」では、リスク該当者は、この5年間でみると0.2ポイント低下しています。リスク別では、物忘れリスクは6.7ポイント上昇し、口腔リスクは4.3ポイント低下しています。

家族構成別にみると、ひとり暮らし世帯のリスク該当者は、5年間で10.5ポイント低下しています。リスク別では、こころリスクは11.7ポイント、口腔リスクは6.3ポイント、物忘れリスクは5.3ポイント低下しています。

高齢者のみ世帯では、リスク該当者は5年間で8.2ポイント上昇しています。リスク別では、口腔リスクは4.1ポイント低下していますが、物忘れリスクが18.0ポイント、外出リスクが5.1ポイント上昇しています。

その他世帯では、リスク該当者は5年間で8.1ポイント低下しています。リスク別では、外出リスクは5.8ポイント、物忘れリスクは3.9ポイント低下していますが、こころリスクは6.2ポイント上昇しています。

図 5.13 リスク該当者、7種類のリスク別出現率（5年比較/第3圏域（じょうなん））

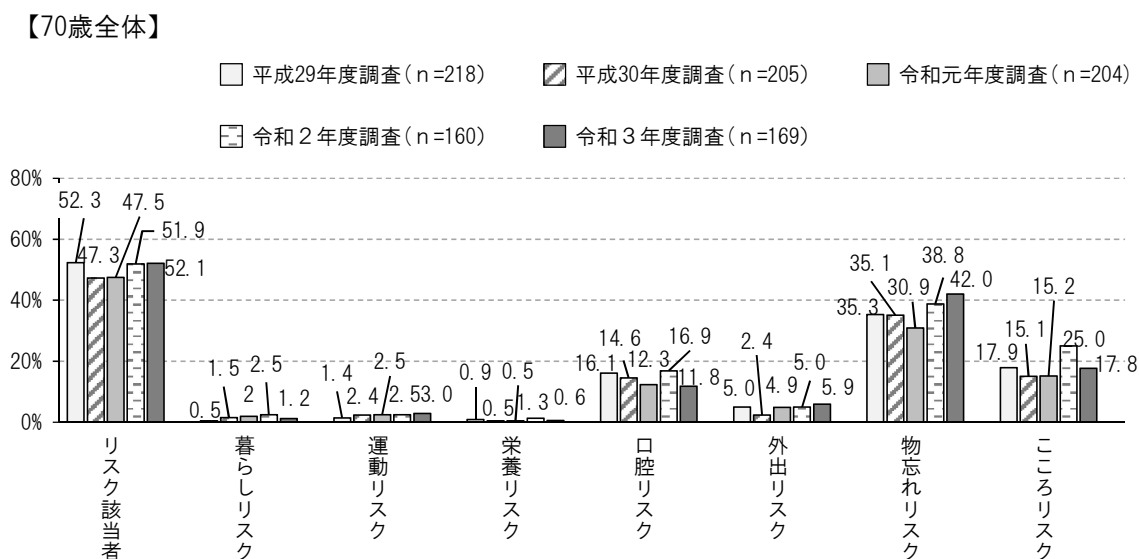
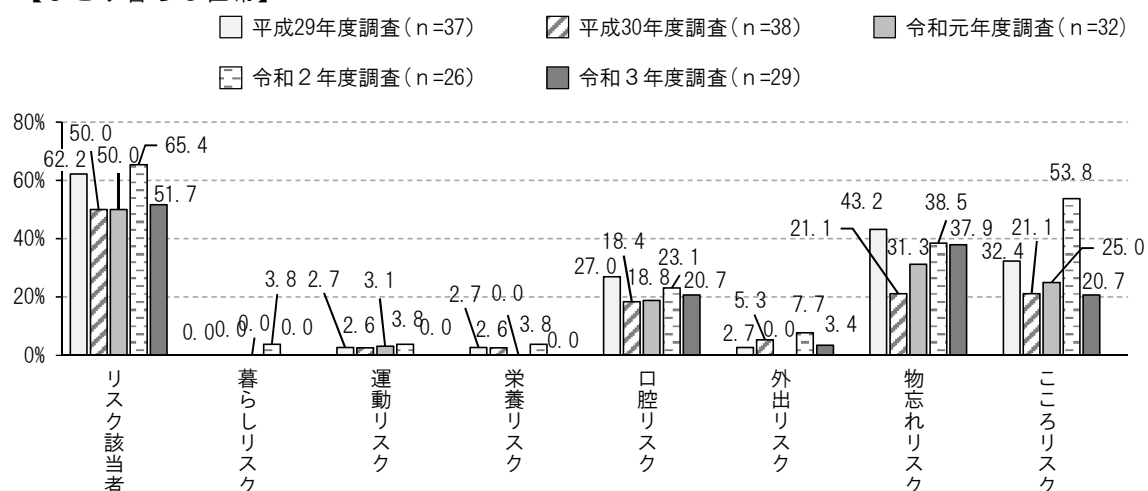
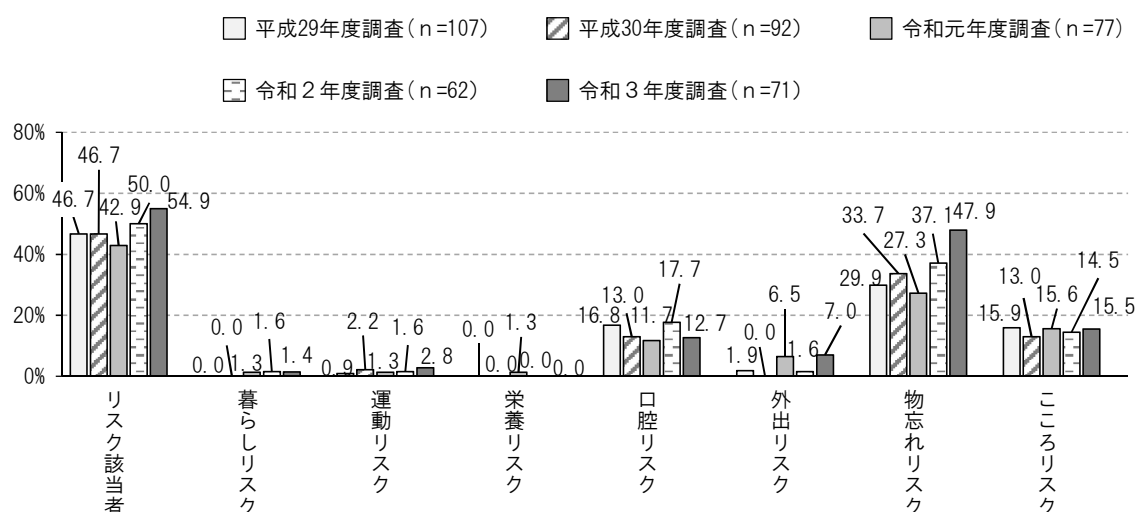


図 5.14 リスク該当者、7種類のリスク別出現率（家族構成別・5年比較/第3圏域（じょうなん））

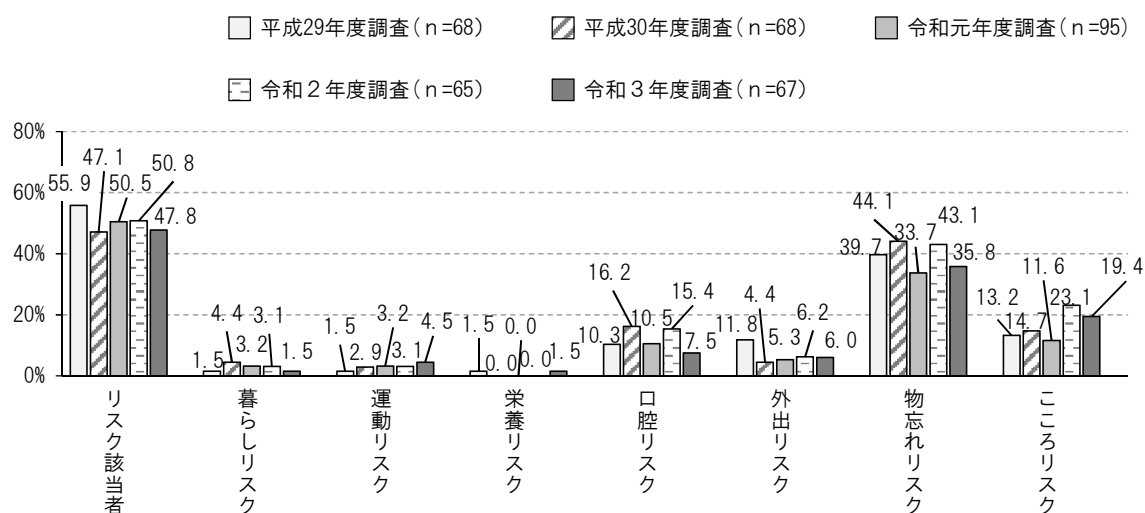
【ひとり暮らし世帯】



【高齢者のみ世帯】



【その他世帯】



(4) 第4圏域（はくさん）

「第4圏域（はくさん）」では、リスク該当者は、この5年間でみると1.2ポイント上昇しています。リスク別では、物忘れリスクは1.8ポイント低下していますが、口腔リスクは7.3ポイント、こころリスクは4.6ポイント上昇しています。

家族構成別にみると、ひとり暮らし世帯のリスク該当者は、5年間で11.2ポイント低下しています。リスク別では、口腔リスクは12.8ポイント、こころリスクは8.1ポイント、物忘れリスクは7.9ポイント低下していますが、外出リスクは9.5ポイント、運動リスクは4.8ポイント上昇しています。

高齢者のみ世帯では、リスク該当者は5年間であまり変化は見られません。リスク別では、外出リスクは4.5ポイント、物忘れリスクは2.9ポイント低下していますが、口腔リスクは10.0ポイント、こころリスクは6.9ポイント上昇しています。

その他世帯では、リスク該当者は5年間で6.5ポイント上昇しています。リスク別では、口腔リスクは9.1ポイント、こころリスクは8.4ポイント上昇しています。物忘れリスクは令和元年度までは上昇を続けて40%を超えましたが、前回と今回の調査では30%を下回っています。

図 5.15 リスク該当者、7種類のリスク別出現率（5年比較/第4圏域（はくさん））

【70歳全体】

